



Yamaka Topics

アマエビの分布量調査

調査年	1歳	2歳	3歳
2012年	207	808	109
2013年	29	163	168
2014年	33	291	129
2015年	503	111	89
2016年	67	412	44
2017年	135	257	380
2018年	111	354	322
2019年	110	118	54
2020年	70	282	102
2021年	14	182	117
2022年	367	79	205
2023年	455	447	126
2024年	11	270	190
2025年	15	41	413
2026年	317	70	90

調査船白山丸が金沢沖の水深375m～500mの海域でアマエビ（ホッコクアカエビ）の分布調査を実施しました。採捕したアマエビの量や大きさから今後の資源状況を見るものです。2025年生まれ（1歳）は今回調査で比較的多く採捕され、同年級群が漁獲対象に成長する2029年には良好な漁獲加入が期待できます。一方で2歳（2024年生まれ）および3歳（2023年生まれ）の採捕数は少なく、これらが漁獲対象に成長する2027年および2028年には漁獲加入は少ない可能性があります。

ノルウェーサバ、漁獲減、高騰

サバは日本が世界最大の消費国。国産サバの減産でノルウェー産に頼る状態ですが、ノルウェーの漁獲枠が半減、また海外の旺盛な需要もあり、価格が高騰。手が出せない（商社筋）状態が続いています。サバはもはや従来の価格帯では無くなっており、商品設計、販売戦略を見直す必要性が出てきました。

スーパーエルニーニョで非常事態宣言

今年発生しているスーパーエルニーニョによる漁業や養殖業への被害を受けて8月、ペルー政府が非常事態宣言を発令しています。養殖業には欠かせない魚粉の原料であるアンチョビの漁獲に大きく影響しています。養殖産業に大きな影響が出てきそうです。

入荷状況

10、11月

甘エビ
◎ブリ
◎ガスエビ
ササカレイ
メギス
◎アオリイカ
アマダイ
バドグロ
ミズウオ
◎ベニズワイガニ



底引き網漁 9月、底引き網漁解禁から天候が悪く、数回の出漁しかできていません。網を入れても魚も少ないようです。また、水温の関係からか、ほとんどの魚種で時期がずれているといった報告を聞いています。（卵を抱えているなど）未だに夏の魚種と言った感じです。出漁回数が増えてくれば魚種、量ともに増えてくるはずですが、前述のように1回の出漁あたりの水揚げは低水準か。ブリは北海道からの入荷がはじまりました。アマエビは大きいサイズが割高です。

●商品価格等は各担当者にお問い合わせください。